



# 能勢高校ニュースレター

第85号 H.28. 11月発行

## 能勢高校文化祭を開催しました。ご来場ありがとうございました！

10月1日(土) 秋晴れのもと文化祭を開催し、たくさんの方々にご来場いただきました。今年のテーマは、「つかめ！青春の輝き」でした。小中高連携企画では「能勢への想いを鯉に乗せ、恋する思いであいに来い」をサブテーマに各小中学校に鯉のうろこ状の色つき上質紙を配り、表面に将来の夢や希望を書いた総数496枚のうろこを張り付けた紙製の鯉のぼりを展示しました。また、地域からお借りした100余りの大小の実物の鯉のぼりをたなびかせました。

オープニングセレモニーでは、生徒たちのSGHの成果の英語による発表、昨年度発足したドローン同好会が撮影した鯉のぼり展示の様子の上映などを行いました。また、恒例となった能勢中吹奏楽部演奏やセレモニーの様子を昨年に引き続きスクリーンにライブ映像を映し、後方の座席からも見えるようになりました。

文化祭の企画には、総合学科の学びや地域や国際交流の成果が反映されています。前年度からは地域交流をさらに深め、銀寄委員会にもご協力頂き、石釜を搬入し、生徒のアイデアを反映した本格的なピザの販売も行っています。地域の方々、小中学校、PTAや「能勢高校を応援する会」「オイスカ関西研修センター」「大阪大学今岡先生モンゴルゼミ」「ノセBOX」「銀寄委員会」など外部の連携団体の協力により、にぎやかな文化祭となりました。



オープニングの能勢中吹奏楽部



連携企画鯉のぼり展示

今年も、本校の総合学習で学んでいるオイスカへの活動支援、モンゴルのマンホールチルドレンやシングルマザーの貧困救済施設「ジェンダーセンター」への活動支援、「赤い羽根」赤十字募金活動を行いました。

支援内容は、以下のようになりました。来場者の皆さま、多くのご協力ありがとうございました。

オイスカへ	21,909円
モンゴルジェンダーセンターへ	10,451円
赤十字「赤い羽根募金」	6,000円

## ボランティア活動～河川美化活動～

9月24日(土) 秋の快晴のもと、能勢ライオンズクラブ・能勢町観光協会・能勢町漁業協同組合主催の「第12回河川美化活動」が開催されました。この活動は、河川における不法投棄の根絶、水資源の改善、河川愛護啓発を図ることを目的に行われています。恒例行事として、今年も運動部の生徒と顧問の先生が参加しました。この河川美化活動を通じ、能勢の貴重な自然を保護していくことの大切さや、地域住民の方々と一緒に地域活動に取り組んでいくことの大切さを感じました。



## スーパーグローバルハイスクール SGH

### ● 在大阪モンゴル国総領事館を訪問しました

10月3日(月) 2年SG重点分野講座生徒11名が在大阪モンゴル国総領事館を訪問しました。ダワードルジ・デルゲルツォグト総領事、アルザフガイ・デルゲルマー副領事、チュロンバトル・ソロンゴ三等書記官に、モンゴル海外実態調査報告と、調査した「モンゴルの養蜂と日本の養蜂」について、プレゼンテーションを行いました。総領事、副領事、書記官から、メッセージをいただきました。「モンゴルでの実態調査いいですね。能勢高校のSGHの取組は両国の友好の橋渡しになります。能勢高校のSGHを応援しています。全面協力します。」



### ● 奈良東大寺で観光ガイドにチャレンジ！（大阪国際大学ワークショップ）

8月26日(金) 英語で外国人観光客に日本文化を紹介し、プレゼンテーション能力を高めるため、観光通訳体験ワークショップに大阪国際大学の学生と本校1年生12名が参加しました。奈良東大寺の入り口で初対面の外国人観光客にボランティア通訳の案内を申し出、大仏殿を英語で案内することによって、コミュニケーション力を試すとともに、異文化交流という貴重な経験をする事ができました。

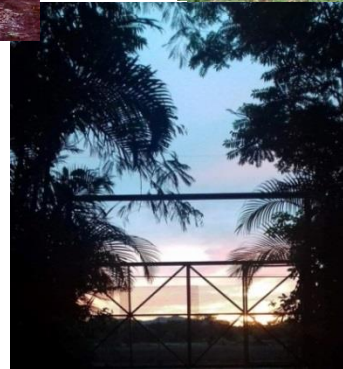
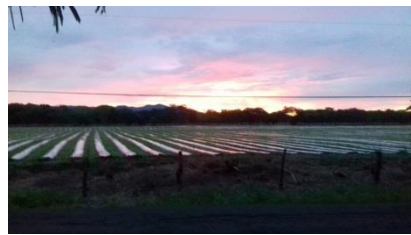


## コスタリカからのお便り

本校からコスタリカに留学している 大城 桜子さんからお便りが届きました。

『こんにちは。連絡が遅くなってしまいすいません。コスタリカにきてもう半年が過ぎてしまいました。やっぱりはじめは文化の違いに戸惑いましたが、たくさんのフレンドリーなコスタリカ人に助けられたおかげでこの半年間を過ごすことができました。本当にたくさんの事があって何から書いていいかわかりませんが、学校の事と家族の事を書こうと思います。』

私はコスタリカのエレディアというところに住んでいます。首都のサンホセの隣にあり、かなり都会です。なので学校もすごく大きい学校で Liceo Ing. Samuel Sáenz Flores という学校に通っています。私は10-6というクラスで日本で言う高校二年生です。スペイン語がまだまだなので英語のテストしか受けられませんが、学校は楽しくて仕方ありません。親友と呼べる友達もでき毎日が充実しています。家族とも楽しく過ごせています。いつも優しく私のことを考えてくれるお母さん、同い年の妹とは何をすることも一緒です。他の兄弟も一緒に住んでいませんが、いつも優しくしてくれます。家族は日本の事が大好きなのでもっと日本の事を知ってほしいです。まだまだ留学生活は続きますが、感謝の気持ちを忘れずに頑張りたいです。』



## AFS 短期留学生 さようなら! アヤ カタ



10月11日から11月4日までの間、AFS 短期留学生として女子2名が本校1年生のクラスで学びました。ハンガリーから来た Katalin Inona Miko (ニックネーム: カタ) とインドネシアから Fathia Athaya Hanief (ニックネーム: アヤ)、共に17歳です。

### アヤからのメッセージ

Aya

Thank you very much for this 1 month experience!  
The friends are very friendly and so helpful, even though sometimes they are shy. Thank you to all the teachers for your guidance and support. Thank you for all the beautiful memories, I won't forget it!  
I will miss Nose, I hope we can meet again :)  
Terima kasih, tetap semangat semua! - Aya

### カタからのメッセージ

皆さん、本当にありがとうございます!  
みんなめっちゃやさしいからね! 英語をしゃべって ~~いい~~!! 楽しかった。未来にもかえりたい!  
能勢はめっちゃきれいな所だよ! 皆もめっちゃよ  
さよならがイヤ、言わないで! ので、またね~♡



## 能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育 第14回 研究発表会 能勢高校 SGH 中間発表会を開催します テーマ ~『つながる』教育の充実をめざして~次代を担う人材の育成~

- 日時 平成28年11月22日(火) 13:30~16:50 (受付13:00開始)
- 会場 能勢ささゆり学園
- 内容 授業公開 \* グローバル能勢・SGH中間発表 \* 講演
  - SGH 中間発表 生徒発表「モンゴル課題研究の中間発表~モンゴル海外実態調査を通して~」  
1モンゴル海外実態調査について(英語)、2課題研究発表「シャーマルの養蜂」(日本語)
  - SGH 来賓スピーチ 在大阪モンゴル国総領事館 アルザフガイ・デルゲルマー 副領事  
講演 「海のない国 モンゴル~SGHの研究開発を通じて~」  
元在大阪モンゴル国名誉領事 日本モンゴル文化経済交流協会会長 佐藤 紀子 氏  
モンゴル国文化大使